1. フッ化物洗口事業について

委　員：フッ化物洗口事業を取り組む保育所や幼稚園を増加するために、具体的にどのように考えているか。

事務局：健康増進課やすこやか保健センタ－の方で、保育所や幼稚園に出向き、職員等に効果等の説明をさせていただくなかで、できるだけ早期の実施が出来るようにお願いしていきます。

1. 若い世代への歯周病検診の拡充について

委　員：自覚症状の少ない歯周病疾患について、現在行っている30代より若い世代で健診を実施する計画はないか。

事務局：現在、若い世代で行っている検診は妊娠中の方に対して行っている歯科検診ですが、受診率が低い為、他にも対象年齢となるがん検診等もあるので、若い世代に対してアプローチしていきます。

1. 国民健康保険について

委　員：国民健康保険の1人当たり医療費が県より高い要因と国保加入者の人数は何人か。

事務局：霧島市内では医療機関の充実があり、高度な医療を受けられることもひとつの要因であると思われますが、一方重症な方も多く、現在ネットワークを立ち上げて専門医につなげて、重症化しない・させないための取り組みを行っています。平成28年度の国保加入世帯は17,681世帯、28,517人です。

1. 受動喫煙対策について

委　員：　受動喫煙についてのアンケート結果を参考として、鹿児島県の行っている「煙の無いお店」の事業に、霧島市も一緒に取り組んでほしい。

事務局：　保健所や他の市町の取組を参考にさせていただきながら取り組んでいければと思います。

1. 虐待について

委　員：　虐待についてのアンケートの回答者と虐待の種類。市が独自で児童相談所を作る動きの有無とそれに準ずる機関が霧島市にあるのか。

事務局：　国の健やか親子21のアンケートで保護者が回答しており、一番多いのは「感情的な言葉でどなった」というものです。

　　　　　市で児童相談所を作ることについては現在のところ準備も整っていませんが、対応できる機関としては、子育て支援課に子ども家庭支援室があり、発達サポートセンターがあります。